

グンマノミライ2030



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

～SDGs とか、「持続可能な地域づくり」って巷で言っているけど、何すれば良いの？～

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）が話題になっています。

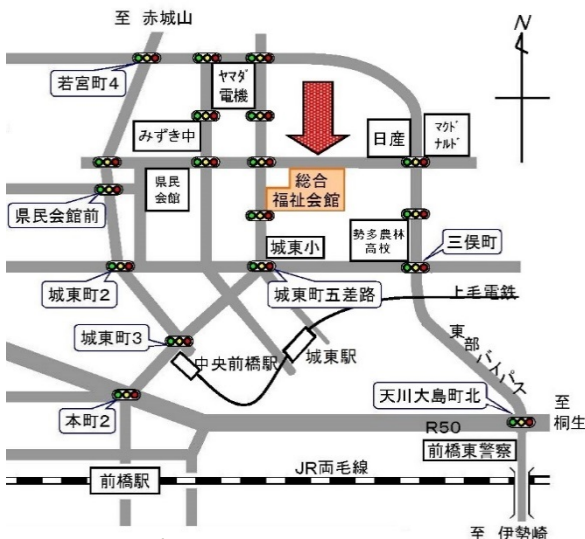
「解決すべきグローバルな課題」と一言と言われても、「自分には関係ない」、「話が大きすぎて手に負えない」と思うかもしれません。しかし、自分の身の回りの持続可能性を考えてみることで、群馬の地域課題や、群馬と日本全体、群馬と世界の繋がりも分かり、将来に向けて、何が必要なかが明確になるでしょう。

これまでも ESD（持続可能な開発のための教育）の取組が各地で行われてきましたが、それを一歩進め、環境、国際協力、福祉、教育などに関係する方にお集まり頂き、将来、具体的には SDGs の目標年度である 2030 年に、「群馬がどのような姿になっているのか」、「その時に向け、県民・行政・企業はどうするのか？」を考えてみたいと思います。

2018年2月1日(木)14:00～16:30

前橋市総合福祉会館文化教養室

(群馬県前橋市日吉町二丁目 17-10) TEL : 027-237-0101



- 上毛電鉄城東駅より徒歩 15 分。
- 前橋駅よりバス 6 番のりば荻窪公園行き（永井運輸バス）「総合福祉会館」下車すぐ（玄関前にバス停あり）前橋駅 13:30 発⇒13:38 着

- ・対象：教育、NPO、行政、企業の方など
- ・定員：70 名（要申込）
- ・主催：群馬県地球温暖化防止活動推進センター
関東地方 ESD 活動支援センター
- ・後援：群馬県（申請中）

【お問い合わせ先】

関東地方 ESD 活動支援センター 担当：伊藤、島田
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F
TEL : 03-6427-7975 FAX : 03-6427-7976
kanto@kanto-esdcenter.jp <http://kanto.esdcenter.jp>



■プログラム（予定）

14:00	開会挨拶	環境省 関東地方環境事務所
14:05	今、何故 SDGs なのか？	関東地方 ESD 活動支援センター
14:25	最近の取組紹介 1	群馬県環境サポートセンター（群馬県環境政策課）
14:35	最近の取組紹介 2	前橋市市民活動支援センター M サポ
14:40	事例紹介 1：鮭に学ぶ ESD	チャウス自然体験学校
14:50	事例紹介 2：地域と海外をつなぐ（ビデオ）	NPO 法人自然塾寺子屋
15:00	最近の取組紹介 3	JICA 東京
15:10	ワークショップ ・地域の良いところ、課題を探る ・2030 年に向けて何が出来るのか？	関東地方 ESD 活動支援センター
16:15	まとめ	
16:30	閉会挨拶	群馬県地球温暖化防止活動推進センター

■事例紹介

チャウス自然体験学校 代表 加藤 正幸さん

群馬県桐生市を拠点に、夏には子どもサマーキャンプを実施したり、通年の学童保育型野外活動や森のようちえんなどを開催している。平成 25 年度より、環境省「持続可能な地域づくりを担う人材育成事業」を実施し、複数の ESD プログラムを開発。環境省・文部科学省の進める、「地域 ESD 活動推進拠点」登録団体。

自然塾寺子屋 ※ビデオ上映

「農村から、日本と世界を元気に」というキャッチフレーズのもと、農業と農村での活動を通じ、地域・自然・人々ともに地域を活性化するための事業を行っている。地元農家の協力を得て、大豆、にんにく、米、いも等の生産・加工・販売の他、グリーンツーリズムや、青年海外協力隊の派遣前国内研修なども行っている。



SDGs とは、国連が 2015 年に採択した「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

■お申込先 web : <http://kanto.esdcenter.jp> FAX : 03-6427-7976

お名前(フリガナ)		メール	
団体名			
関心のあるテーマ・話題にしたいこと			